

授業科目名	理科教育論
科目番号	CB23131
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋C 集中
担当教員	遠藤 優介
授業概要	教科「理科」の成立・発展過程、理科教育の目的・目標、諸外国における科学（理科）教育、理科の教授・学習と科学論、教材開発等を中心に取り上げ、最新の教育動向を踏まえながら、現代理科教育の展開と課題について学ぶ。
備考	1/20-21, 1/27-28 対面 2020年度までの「科学教育論（CB23101）」を履修済みの者については、履修を認めない。
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的考察力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	<p>(1)自然事象と理科教育事象の違いを示し、理科教育という営みの全体構造を捉えることができる。</p> <p>(2)教科「理科」が成立する前の科学教育のあり様について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(3)教科「理科」が誕生した背景や歴史的解釈について学び、要点を説明することができる。</p> <p>(4)大正期の理科教育のあり様について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(5)第二次大戦期及び戦後の理科教育のあり様について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(6)理科教育の目的・目標がどのように設定されるかについて学び、代表的な類型を説明することができる。</p> <p>(7)科学的リテラシーについて学び、目的・目標論の視座からその現代的意義を説明することができる。</p> <p>(8)諸外国、特に欧米圏における科学（理科）教育について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(9)諸外国、特にアジア圏における科学（理科）教育について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(10)理科における構成主義学習論について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(11)理科における状況的学習論について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(12)活動を通して科学的探究の実際に触れ、その特徴を説明することができる。</p> <p>(13)科学の本質(NOS)について学び、その特徴を説明することができる。</p> <p>(14)理科授業において探究活動を充実させるための手立てについて考察し、その視点を示すことができる。</p> <p>(15)素朴帰納主義とその限界について学び、理科教育との関連を考察・説明することができる。</p> <p>(16)観察の理論負荷性について学び、理科教育との関連を考察・説明することができる。</p> <p>(17)理科教材を開発する際に留意すべき視点について学び、具体的な教材を構想することができる。</p>